

臨床研究

「トリプルネガティブ乳がんの術前化学療法における dose dense 療法の治療成績の検討を目的とした観察研究」についての情報公開

トリプルネガティブ乳がんは一般に悪性度が高く、乳癌診療ガイドライン(2022年版)でも再発高リスクにdose-dense 化学療法を行うことが強く推奨されています。当院でも術前化学療法として行っていますが、予後不良例が多く、治療の限界も感じています。最近、免疫化学療法(ペムブロリズマブを含む)が周術期に推奨され、2023年には本邦でも保険適応となりました。

そこで、今後の免疫化学療法選択の参考にすべく、当院にてトリプルネガティブ乳がんに対し術前化学療法を行った症例の治療成績等を検討するため、後ろ向きの観察研究を計画しました。

研究対象期間：2019 年 4 月～2024 年 3 月まで。

研究対象：上記期間に東北労災病院にてトリプルネガティブ乳がん術前化学療法を受けた後、乳腺外科にて手術施行した患者さん。

方法：診療録の記載内容から収集された、患者背景や検査所見、治療経過を用いて検討を行います。検討結果は全体をまとめたものであり、個別の症例としては取り扱わないようにし、特定の患者さんに直接の不利益がもたらされることはないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

研究代表者：

**独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
乳腺外科 本多 博**

**TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541
〒981-8563 仙台市青葉区台原 4 丁目 3-21**